

キュウシュウチビトラカミキリ

Perissus kiusiuensis kiusiuensis Ohbayashi
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県が日本海側の分布北限。嶺南の調査によって生息地が増える可能性がある。照葉樹林を主な生息地としており、海岸沿いの照葉樹林は開発等の影響を受けやすい環境であることから、今後も注視が必要であると判断した。

種の特徴

体長 6～11.5 mm。複眼脇には頬に達する低い稜が走る。前胸は縦長で背面は強く隆起する。上翅は白～淡色微毛で形成される斑紋がある。照葉樹林を主な生息場所とし、成虫は夏季に出現、広葉樹の伐採枝に集まる。寄主植物はシイ、ウバメガシ、タブ、ニワトコ、アカメガシワ。

分布

本州～九州に分布。県内では美浜町水晶浜、御神島、小浜市鬼ヶ谷、高浜町音海等で記録があった。今回、高浜町山中、小浜市久須夜ヶ岳、福井市八ツ俣でも確認された。

生息を脅かす要因

照葉樹林（暖帯林帯）を主な生息場所としていると考えられるが、県内ではこのような林の分布が少なく、島嶼や社叢、海岸沿いの照葉樹林の改変が脅威となる。

参考文献 福井県自然保護課（2002）、日本鞘翅学会（1984）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○		○	○	○												○

トラフカミキリ

Xylotrechus chinensis (Chevrolat)
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

かつてはクワ畑の害虫として知られていたが、近年は養蚕業の衰退に伴い減少している。16都県でレッドリストに掲載されている。

種の特徴

体長 17～26 mm。前胸背板中央部に黒いふちどりの赤帯がある。上翅は黒色の地に3本の金黄褐色帯がある。成虫は7～9月に出現する。クワ畑に多い。

分布

国内では北海道～琉球列島にかけ分布する。今回の調査では、敦賀市中池見湿地周囲の樹林で確認された。

生息を脅かす要因

クワ栽培の終焉。本県における現在の生息状況の把握が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、大林・新里（2007）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○			○					○		○			○	

コトラカミキリ

Plagionotus pulcher (Blessig)
コウチュウ目・カミキリムシ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】準絶滅危惧

選定理由

国内の産地では近年減少していて、6県でレッドリストに掲載されている。近隣の石川、富山では絶滅危惧Ⅰ類、Ⅱ類と高いランクに選定されている。本県においては1938年大野市西谷村での記録以来確認されていない。

種の特徴

体長 12.0～15.5 mm。前胸背板に細い1条の黄色の横線があり、上翅の黄色の帯状紋は八・二の字状。成虫は5～8月に出現し、コナラ・クヌギ等の伐採木や薪に集まる。

分布

国内では北海道、本州に分布する。四国にも記録があるようだが、疑問視されている。今回は奥越を中心に調査が行われたが、本種は確認できなかった。

生息を脅かす要因

森林伐採、里山の管理放棄による環境変化。調査地では森林管理者の高齢化に伴い薪の生産が減少していた。これが本種の発見を困難にしている、かつ森林の環境変化にも影響していると推測される。県内における生息状況の把握が望まれる。

参考文献 福井県自然環境保全調査研究会（1985）、環境省（2015）、大林・新里（2007）

市町別 生息情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	